



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために



Kalyan Banerjee

カルヤン・バネルジー
2011-12年度国際ロータリー会長

No.32

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

原点にかえり大いに語ろうロータリーを

- ① 会員相互・家族との親睦を図ろう
- ② 会員が中心の明るく楽しい例会運営
- ③ こころを伝える広報をし、仲間を増やそう
- ④ CLPの検討

例会記録 (2012. 3. 9 (金)) 通算2,886回

◆開会

◆唱歌 ロータリーソング (我等の生業)

◆「四つのテスト」唱和

◆表彰

年間出席率優秀クラブ表彰

覚野成広会長

20年100%連続出席優秀会員表彰

後藤武男会員 西川俊彦会員



年間出席率優秀クラブ表彰高砂RC



20年100%連続出席優秀会員表彰後藤会員・
年間出席率優秀クラブ表彰覚野会長

◆プログラム予定

3月14日 (水)	3月23日 (金)	3月30日 (金)	4月7日 (土)
合同例会 (3月16日例会分) 於: ウェディングパレス 鹿島殿	卓話「フレア-護岸」 (株)神戸製鋼所資源エンジニア リング事業本部 鉄構・砂防部 次長 竹鼻直人様	卓話「ハザードマップ について」 高砂市総務部危機管理室 係長 後藤猛虎様	花見家族例会 (4月6日例会分) 於: ウェディングパレス 鹿島殿

◆出席報告

本日 3月 9日 会員数49名 出席者 28名 出席率 66.67%
前々回 2月24日 会員数49名 修正出席者42名 出席率100.00%
2月度平均出席率100%

◆MAKE-UP

桂田 重信会員	国際ローター地区大会	3月3日 (3/2)
桂田 重信会員	国際ローター地区大会	2011年3月13日 (3/9)
信原 智彦会員	国際ローター地区大会	3月3日 (3/2)
田中 泰生会員	e-CLUB	3月4日 (3/2)
寺崎 道雄会員	e-CLUB	3月2日 (3/2)
寺崎 道雄会員	e-CLUB	3月2日 (2/24)
豊田 克義会員	e-CLUB	3月1日 (2/24)

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

中木村 明会員……本日、自己紹介をさせて戴きます。宜しくお願ひ致します。
後藤 武男会員……20年出席100%祝を戴きまして。
早退3名

◆幹事報告 (2,886回)

○ガバナー事務所より、地区会員研修の開催について(入会5年未満の会員対象)が届いております。

①姫路 4月15日(日) 13:30~16:30
ハーベスト医療専門学校(姫路駅南) 講師 安平和彦パストガバナー

②神戸 4月22日(日) 13:30~16:30
神戸女子大ポーアイキャンパスD館501 三木明パストガバナー

○ガバナーエレクト事務所より、次年度GSE団員募集要項が届いております。

派遣先 マレーシアRI3300地区 期間11月18日(日)~12月26日(水)
資格・職業に2年以上常勤として勤務している者

- ・申請時に25歳~45歳までであること
- ・兵庫県内に居住または勤務していること
- ・日本国籍を持っていること

応募書類提出締切 7月6日(金)

面接選考 7月22日(日)

○高砂音楽家協会より、クリスマスコンサートご協力の御礼とパンフレットが届いております。



西田秀雄幹事

◆会長の時間

寒さも緩み、遅れていた梅の花もほころびはじめました。

さて、3月3,4日に開催されました地区大会には多くの方に足を運んで頂きありがとうございました。

東日本大震災から1年ということではありませんが、まだまだ復興にはほど遠い現実を再認識させて頂いた大会であったように思います。

講演会では、鎮守の森といわれるところに残されてる自然植生の調査に基づいた、自然の立地条件に最も適した土地本来の植生を長年研究・実践されている横浜国立大学名誉教授 宮脇 昭氏の基調講演、ロータリアンでもある朝比奈千足氏の指揮による石巻市立石巻中学校吹奏楽部、神戸市立本庄中学校吹奏楽部、神戸フィルハーモニックの合同演奏会等があり、感動的で長時間である事を忘れる地区大会であったように思います。

また表彰においては、2010-11年度年間出席率優秀クラブとして高砂ロータリークラブも地区表彰を頂きました。

また、20年間連続出席に後藤武男会員、西川敏彦会員、2010-11年度マルチプル・ポール・ハリス・フェローで砂川次善会員、森本克己会員、永野 力会員が表彰を受けられました。

おめでとうございます。

毎年、このように表彰者が出ることを祈念し会長の時間と致します。



覚野成広会長

◆本日のプログラム

卓話「自己紹介」 中木村 明 会員

こんにちは、昨年の7月29日に、狩野会員殿及び中野会員殿の、紹介で入会させております、中木村明と申します。

自己紹介の前に、この度は、自分の仕事の都合で、自己紹介の日にちを変更して頂き、プログラム委員の高木委員長殿には、ご迷惑をお掛けし申し訳ございませんでした。

本日は、約20分という非常に長い時間、みなさんの貴重なお時間を頂くということで、自分自身、非常に恐縮しております。

自分自身は、人前で話をするということが、なにぶん、不慣れということもあり、凄く苦手なこととして、プログラム委員の高木委員長殿から、『自己紹介の日にちは、2月10日に決まったので』と日にちを伺ってから、何ともいえないプレッシャーが例会を重ねるごとに、重くのしかかってくるのを、感じての出席でした。



中木村 明 会員

それに、先週、自己紹介をされた加納会員殿が、柔らかいしゃべり口で、すごくわかりやすく、上手に自己紹介をされているのを聞かせて頂き、さらに、プレッシャーが倍増してしまいました。出来ることでしたら、今日のこの時間を使って頂き、先週途中になりました、カブトムシの話を、加納会員殿にして頂けたらと思うぐらいです。

長時間ですが、どうか、宜しくお願いします。

まずは、始めに自分が勤めています会社の紹介からさせて頂きたいと思います。お手元にパンフレットを配って頂いていますので、まずは、パンフレットの裏面をご覧頂き、所在地について、説明をしたいと思います。所在地についてですが、この高砂ロータリーの会員でいらっしゃいます、田中会員殿が工場長をお勤めになられております、サントリー高砂工場殿の下側に、赤く塗りつぶしてありますところが、自社の住友興業となっております。敷地面積は4500ヘイベイ、坪に直しますと約1350坪になっておりこの敷地の中に、第1工場・第2工場・事務所建屋を建てて商いをやっております。次に、パンフレットを表に戻して頂き、表紙をめくってご覧頂けたらと思います。

※パンフレットの言葉を朗読する。

この内容を、短く簡潔にまとめさせて頂いたものが、少し大きな字でかいてあります【物作りの分野で社会に貢献し、人々の暮らしを豊かにしたい】、という言葉が、自社の、社長方針となっております。

続きまして、会被概要なんですけど、

※上から順次朗読する。

平荘工場につきましては、今はすでになく第2工場に移管して業務を行っております。若干このパンフレットが古い為、更新が間に合っておりません。申し訳ございません。

次は、事業内容についてですが、

※朗読

工業関係の仕事でしたら、何でも対応させております。主な取引先様としましては、この高砂ロータリーの会員でいらっしゃいます、伊藤会員殿がお勤めになられております、三菱重工業・高砂製作所殿及び高砂研究所殿です。あとは、明石にあります、キャタピラージャパン殿と川崎重工業・西神工場殿と、お取引をさせて頂いております。

パンフレットの右のページは、過去の実績について写真で紹介しております。自社としましては、金属加工業ということで、鉄板を加工したりすることは得意としておりバーベキュー等で使用する、オリジナル鉄板がほしいと、思われている方がいらっしゃれば、プレゼントさせて頂きたいと思っておりますので、気軽に相談して下さい。

以上で、会社の紹介は終わらせて頂き、自分自身の紹介に移らせて頂きます。

生年月日については、1970年昭和45年の6月26日生まれでございます。

自分が生まれた年に、太陽の塔で有名な大阪万博が開催された年だと聞いております。自分自身は、何度かエキスポランドには、遊びに行った記憶がありますが、去年かおとどしに、エキスポランドは無くなってしまったみたいです。

自分が、生まれ育った場所は、姫路の飾磨区細江というところで、現在は、姫路リバーシティー（旧しきしま紡績・シキボウ）と浜国を挟んで南側です。生まれ育った実家には、今も尚、両親と兄が暮らしております。

自分は、小さい時から、まったくと言って良いぐらい落ち着きがなく、それでいて、何を習いに行かせてもらっても、1・2日、行くだけで辞めてしまうような子供でした。そんな何をしても長続きしない自分でしたが、テレビ漫画で放送されていました『巨人の星』、その『巨人の星』の大ファン

であった父の影響で、ソフトボールと軟式の野球は小さなときから、無理矢理、続けさせられていました。その当時の自分は、中学に入学をしたら、野球部に入部し、野球を本格的にするもんだと思っておりましたが、小学5年生から始めたバトミントンが、キッカケとなり、『柔道』を始めてしまい、中学では、柔道部に入部をしてしまいました。

バトミントンが、『柔道』を始めるキッカケになったというのも、自分は普通にバトミントンの練習に参加をして楽しんでいたら、同じように参加をしていた近所のおばちゃんに『柔道』をしてみないかと勧められたのがキッカケの始まりでした。

今の自分からは想像がつかないと思いますが、その当時の自分は、身長150cm、体重が45kgで、小学5年生の標準的体型でした。標準的体型だった自分ですが、なぜか『柔道』を勧められました。

最初に勧められた、その時は、なんの迷いもなく断りましたが、しかし、その方は、いくら断っても、何度も何度も勧めてきました。それも約1年もの間、バトミントンの練習で会うたびに、毎回、勧めてきていましたので、そのおばちゃんと自分との挨拶のようなものと思って、聞き流していました。

そんな中、自分が小学6年生の夏に、バトミントンの練習で右足首を捻挫してしまい、あまりにも自分が痛がっていたので、バトミントンの先生が接骨院に連れていってくれました。接骨院は、練習場所から、一番近いということで連れていってもらったところだったんですが、その接骨院こそが、前から勧められていました、柔道場でもある、接骨院でした。

捻挫の治療の為、何日か通院をしていましたら、『柔道』の先生でもあります、接骨院の先生に、『君の筋肉と関節は、凄く柔らかくケガをしにくいのでスポーツに向いている』『どうや、柔道でもしてみないか?』と先生にまで、『柔道』を勧められました。それまでは、近所のおばちゃんに、挨拶のように『柔道』を勧められるだけだったんですが柔道の先生にまで勧められたので、一度見るぐらいなら、いいかなと思ひ、見学に行かせてもらうことにしました。

見学だけのつもりで、道場に入ると、いきなり道着を出され、これに着替えてと。子供ながらに、騙されたことに気づきましたが、断ることができずに、仕方なく道着に着替え、その日から受身を教えてもらい、ひたすら受身の練習をして帰ったことを覚えています。騙されて始めた、『柔道』ではあったんですが、自分自身、相手を投げたときの爽快感が、なんともいえず、癖になり嵌っていきました。

『柔道』に夢中になっていた自分は、中学に入学と同時に、柔道部に入部をしていました。その当時は、まだ標準体型だった自分ですが、強くなりたければ、まずは身体をつくることだと、道場の先生に教えられ、ご飯は、お茶碗ではなく、どんぶり食べるように、ご飯一合と水1リットルの割合で飲み込むように食べたら、大きくなれるからと教えられ、教えられた通りの食べ方をしていましたら、ミルミルとお腹回りだけは成長しました。ちなみに現在も少しずつ、成長は続いています。

中学1年生のときの柔道部は、3年生の部員も多く、毎日、柔道部らしい稽古ができていました。そのおかげで、試合にも参加できていたのですが、一級上の部員が少なく3年生が引退をした後は、部員不足となり、柔道部では稽古も出来ない状態となり、試合にも参加できない人数になってしまいました。柔道部自体は少ない人数でも、存続はしていたのですが、さらに自分が最上級生になる年には、部員不足の為、柔道部は廃部になってしまいました。

そんな中でも、自分自身は柔道をあきらめきれずに、毎週、道場での稽古は続けました、幸いにも自分が通っていた道場には、当時の市川高校の監督が稽古にこられていたということもあって。その監督さんから、『稽古がしたいのであれば、うちにくればいいよ』と、言って頂き、中学生でありながら、市川高校に、土日だけですが稽古に通わせて頂きました。高校進学についても、稽古で通わせて頂いていた、市川高校に特待生として進学させて頂きました。

自分が高校3年生になる年、昭和63年は、63総体といって、兵庫県にて全国高校総体の開催が

決まっていたので、兵庫県高校柔道連盟の強化の目的で、年に3回は他府県に遠征合宿に行かせて頂きました、合宿での練習は厳しくて大変だったんですが、なにぶん、16・7の高校生だったので、修学旅行の延長気分楽しんで行かせて頂いていました。それと、遠征合宿とは別に、兵庫県内の施設でも強化合宿等を実施して頂いたり、『柔道』が強くなれる環境を与えて頂いた年代でした。

その中で、一番記憶に残っている合宿は、阪神甲子園球場の近くである鳴尾浜での合宿です。その鳴尾浜での合宿では、当、高砂ロータリーの会員でいらっしゃる、脇谷会員殿が大学をご卒業されて、心身共に一番ハリツヤが良い状態のときに、強化コーチとして参加されておりましたので、稽古を付けて頂いた『いじめられた』ことが、今でも鮮明に残っております。

大学は、先程もお名前を出させて頂きました、脇谷会員殿の出身校でもあります、奈良の天理大学に進学させて頂きました。

自分が思い描いてめた、大学生活のイメージというのは、稽古とトレーニングさえしていれば、あとは、自由な時間というような、甘い思いがありました、天理大学・柔道部というところば、そのような甘い思いなんて、全否定されているところでした。特に厳しかった、寮生活について紹介させて頂きたいと思います、1回生のときは当番制になっており、その当番というのが、食堂当番・風呂当番・寮当番の3つの当番となり週代わりのローテーションで当番が回っていました。まず1つ目は、食堂当番についてですが、練習終了後すぐに食堂にて待機し、先輩方が来られたらご飯をよそい、味噌汁をいれ、おかず等を並べて、先輩が席に座りさえすれば、食べられるように用意し、食べ終わった食器を片付けるという当番でした、2つ目は、風呂当番についてなんですが、この当番も練習終了後直ぐに、風呂場に行き先輩方が来られましたら、洗面器にお湯を汲んで渡し、先輩が湯船から上がられたら、健康タオルに石鹸を泡立てて、先輩の背中を流すという当番でした、約2時間もの間、風呂場に立って待機しているので、夏場は特にきつかったです。最後に寮当番についてなんですが、4回生からの『コール』という呼出の声が、かかれば、その4回生のところに走って行き、その『コール』をかけた人の頼みごと(命令)に従うという当番でした。

余談なんですが、自分達1回生が入部したときに、まず最初に4回生との会話について教育をされます。4回生から、言われたことについては、『はい』か『いいえ』のみで答えなさいと教えられます。正直なところ、『いいえ』とは言えるわけがなかったもので、全てに対して『はい』と行って、従うという意味でした。

自分が、1回生のときは、あまり無茶をいう人はいなかったんで、助かったんですが、語り草で聞いた話によりますと、『コール』でわざわざ呼び出され、テレビのチャンネルを変えさせられただけとか、夜中に『コール』で呼び出され、買い物に行かされたりしていたそうです、その時代は、コンビニなんてなく、夜中に買い物なんて出来ないのを解っていて、行かされていたそうです。

あとは、当番とは、別に、部屋人に当たります4回生の部屋の掃除と洗濯までが1回生のときのお努めでした。務めとは別なんですが、門限後『集合』というのがあり、その日一日で粗相があった時に、集められました。粗相といっても、練習中の声が小さいとか、『コール』を掛けたのに直ぐに来なかったとか、喫煙を上級生にみられたとか、廊下が汚いとか、意味があるときもあれば、単なるこじつけのときもあったと思います。ある意味、上級生のストレス発散の場のようなもので、殴る蹴るが当たり前で、殴りすぎて、手が痛いからといって、物を投げつけられました、昔、100円を入れて10円玉10枚に両替する自動両替機、オレンジ色のボディであったと思うんですが、その自動両替機が飛んできたりもしました。自分は続けることができましたが、何人かの同級生は夜逃げ同然で、逃げて、辞めてしまう子もいました。

入学当時は、108kgあった体重も約1ヶ月程で、92~3kgまで痩せていました。あの1回生の

環境には戻りたくないですが、体重だけは戻りたいと思っています。

それから、自分が3回生になったときには、今では、凄く有名な篠原信一が新入生として入学してきました、入学当初の彼の印象は、モアイ像みたいな顔した巨人という印象で、特に、手のひらが大きかったです、自分の手と比べますと、約50cm・ふた周り以上大きく指の太さにかんしては、倍程の違いがありました。こと柔道に関して言えば、投げて投げられてで特別に強いとか、何かもっているような感じはなかったんですが、『幻の金メダル』で一躍、時の人となり、今では全日本男子の監督にまでなっています。

あと、自分の後輩で有名といえは、オリンピック3連続金メダリストの野村忠宏です。野村とは、大学では一緒になっていないんですが、自分が大学生で彼は天理高校の高校生という関係でした。彼が高校3年生のときには、大学の道場によく出稽古で来ていたので、何度か稽古をしました。オリンピックでもそうだったんですが、彼の出場している階級は、60kg以下級だったんですが、当時の彼は、身長が150cmで、体重がたしか48kg程だったと思います。正直、体格がもう少し、たとえ10cm・10kgでも恵まれていたら、強いのにと自分は思っていたんですが、彼は、体格のハンデはものともせず、60kg以下の階級で高校日本一になり、徐々に体格も大きくなり、大学では大学日本一、まして、一般の競技でも、日本一となり、日本代表としてオリンピック、3連覇という偉業をなしました。

そもそもオリンピックに出場できること自体、凄いことなのに、3回も出場をし、3度共、金メダルを獲得したことは、本当に素晴らしいことだと思います。

最近では、大学の名前を聞く機会も減ってきてはいたんですが、おと年に、穴井という選手が、全日本選手権で初優勝をし世界柔道等の大会で、久々に名前を聞かせてくれております。

それと、柔道部ではないんですが、昨年 of 年末から年始にかけてと、全国大学ラグビーフットボール選手権では、法政大学・慶応義塾大学・関東学院大学を撃破し、みごと決勝進出をはたし、決勝では惜しくも、帝京大学に敗れはしたものの、頑張ってくれているのを耳にし、嬉しく思いました。

自分自身は、大学を卒業後、3年間実業団で柔道を続けてはいたんですが、阪神淡路大震災を機に、柔道を辞めてしまいました。辞めた後、縁あって、今の社長と出会い、現在に至っております。

現在、しているスポーツについてですが、ゴルフに夢中になっております。始めた当初は、止まっているボールを打って、カップに入れるだけと思っていましたが、スコアを気にするようになってからは、思い通りにならない難しさが、悔しくて、悔しくて日々、精進をしております。また、メンバーに空きが御座いましたら、お声を掛けてください。

最後に、家族について紹介させていただきます。加古川の東神吉町出河原に、家を建て、妻・佐智子と長男・優と長女・夢の4人で暮らしています。

長々と自己紹介をさせて頂きましたが、聞き取りにくい等が多々あったと思いますが、どうか、ご容赦の程をお願い申し上げます。

本日は、どうも、ありがとうございました。

会長 覚野 成広 幹事 西田 秀雄
例会日時 毎週金曜日12時30分より
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 井本 雅也
例会場 高砂商工会議所2階会議室
http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/